

平成 17 年度
全国ギャンブル型レジャー参加実態と
カジノに対する意向調査

(株)エンタテインメントビジネス総合研究所

1. エグゼクティブサマリー

カジノ合法化賛否 「賛成派が過半数 反対は2割に及ばず」

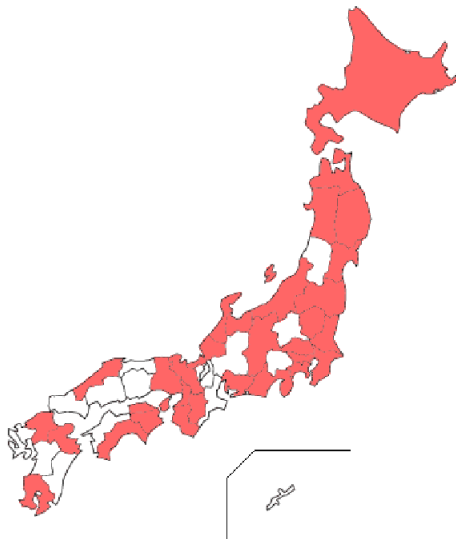
株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所（代表；藤田宏）は、インターネットリサーチ大手株式会社インフォプラントのパネルを活用した全国のインターネットユーザー男女計 10,000 名の回答を集計した。既存のギャンブル型レジャーへの参加状況では、「宝くじ（スクラッチくじを含む）」が6割強でトップ。「数字選択式くじ」、「パチンコ」、「中央競馬」などが2割前後で続いている。いずれのギャンブルもしたことがない者は2割強に達している。

特に本調査において目玉となった「カジノ合法化に対する賛否」に関する設問では、賛成が過半数を占め（52.4%）、反対は 19.1%あまりに留まった。また、都道府県別に集計した結果においても全国 31 都道府県で賛成派が過半数を超え、多くの地域でカジノ合法化に対する理解が得られている事がわかった。

図表 1

カジノ参加意向 分布図

「■色」は賛成が過半数を超えた都道府県



2. 調査概要

調査の目的；全国のギャンブル型レジャー参加状況と、カジノに対するスタンスを調査

実施期間；3月下旬～4月初頭

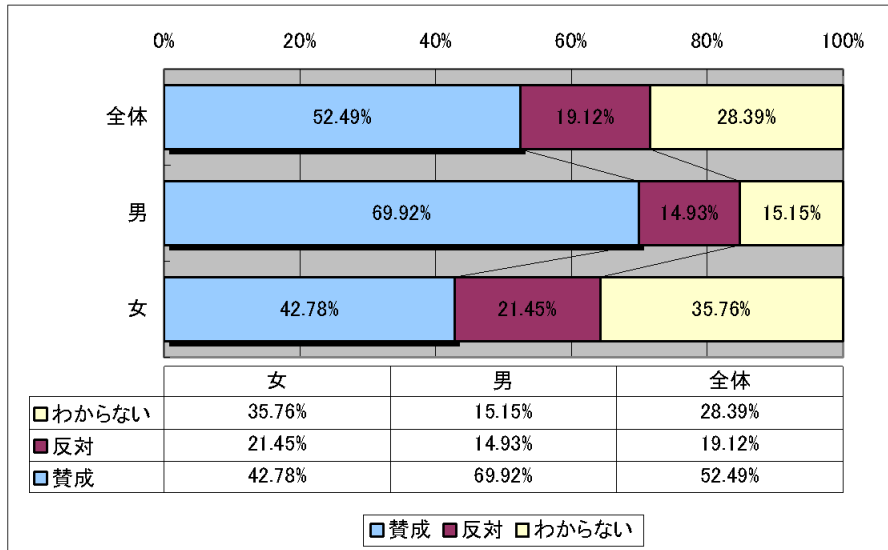
調査対象；株式会社インフォプラントのパネルを活用した全国のインターネットユーザー男女計 10,000 名

3. カジノ合法化賛否

「賛成派が過半数 反対は2割に及ばず」

全国男女10,000人に聞いた「カジノ合法化に対する賛否」の結果は以下のようになった。

図表 2



全体の集計結果では「合法化に賛成（52.49%）」、「合法化に反対（19.12%）」、「わからない(28.39%)」という結果となり、日本のカジノ合法化に対し過半数が賛成の意向を示しており、反対派（19.12%）と比べて圧倒的多数である事が分かった。また、都道府県別でこの結果を見ると、全国31都道府県で賛成が過半数を超え、多くの地域でカジノ合法化に対する理解が得られている事がわかった。

図表 3

県別カジノ合法化に対する賛否（全都道府県別）

「■色」で示したのが賛成過半数以上の都道府県

県名	賛成	反対	わからない
北海道	52.0	20.3	27.7
青森県	66.7	7.7	25.6
岩手県	50.1	18.2	31.8
宮城県	56.5	18.2	25.2
秋田県	53.7	7.3	39.0
山形県	45.0	30.0	25.0

県名	賛成	反対	わからない
新潟県	55.5	17.7	27.0
富山県	53.2	12.7	34.0
石川県	53.5	17.2	29.0
福井県	50.0	25.0	25.0
岐阜県	41.0	18.7	40.2
静岡県	53.6	17.3	29.1

県名	賛成	反対	わからない
岡山県	48.9	16.0	35.1
広島県	42.2	27.3	30.6
山口県	45.9	23.0	31.1
徳島県	53.0	11.8	35.3
香川県	50.9	23.6	25.5
愛媛県	49.9	14.4	35.5

福島県	56.6	11.3	32.1
茨城県	55.6	20.6	23.9
栃木県	55.3	16.5	28.2
群馬県	48.7	12.2	39.2
埼玉県	52.9	16.6	30.5
千葉県	52.7	18.9	28.3
東京都	56.0	17.8	26.3
神奈川県	52.4	19.0	28.5
山梨県	44.0	28.0	28.0
長野県	59.1	15.8	25.0

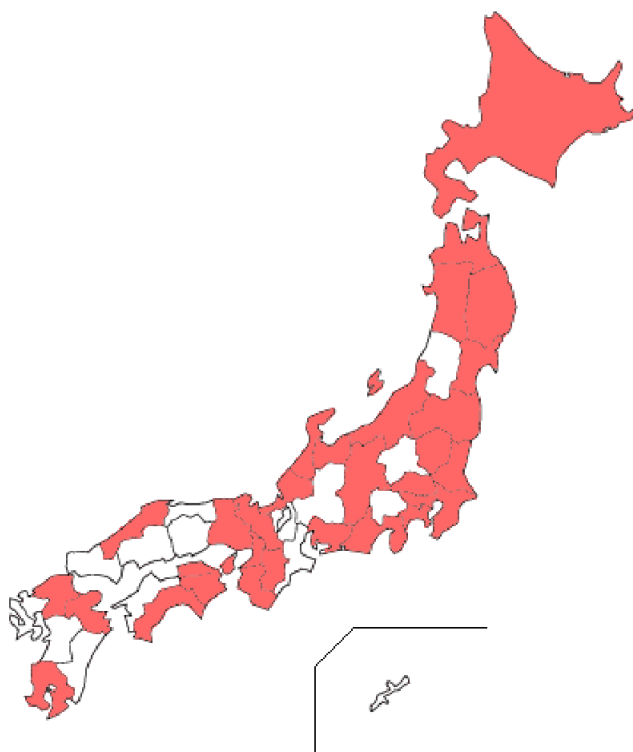
愛知県	50.5	21.4	28.1
三重県	44.8	22.8	32.5
滋賀県	49.4	19.2	31.3
京都府	55.5	21.1	23.4
大阪府	51.0	20.5	28.5
兵庫県	50.7	20.9	28.4
奈良県	50.5	21.0	28.6
和歌山県	57.4	14.7	27.9
鳥取県	48.1	14.8	37.0
島根県	60.8	17.3	21.7

高知県	59.0	10.3	30.8
福岡県	52.1	19.3	28.6
佐賀県	29.2	41.7	29.2
長崎県	44.1	14.7	41.2
熊本県	43.9	22.8	33.3
大分県	57.1	16.3	26.5
宮崎県	45.7	34.3	20.0
鹿児島県	65.3	18.3	16.3
沖縄県	49.0	26.4	24.5

注) 単位はすべてパーセント (%)

さらに賛否の傾向を分布図上に示してみると、東日本の都道府県の方が比較的カジノ合法化への賛成傾向が高くなっており、逆に西日本、中でも特に中国、九州地方ではカジノ合法化の賛成派が未だ過半数に届かない都道府県が多く見られる結果となった。

図表 4
 カジノ参加意向 分布図
 「■色」で示したのが賛成過半数以上の都道府県

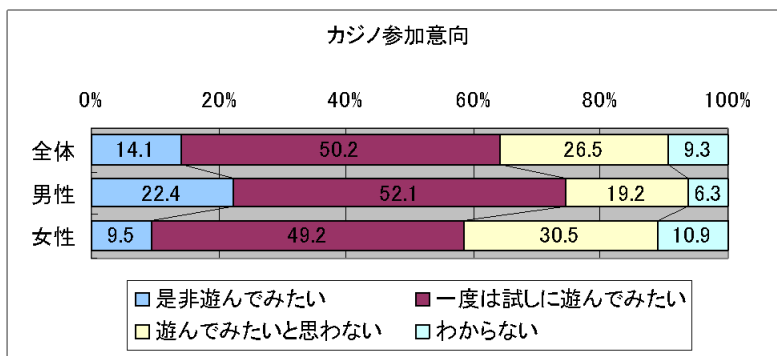


4. カジノ参加意向

「カジノ参加へは比較的慎重 20代、30代がより高いカジノへの関心」

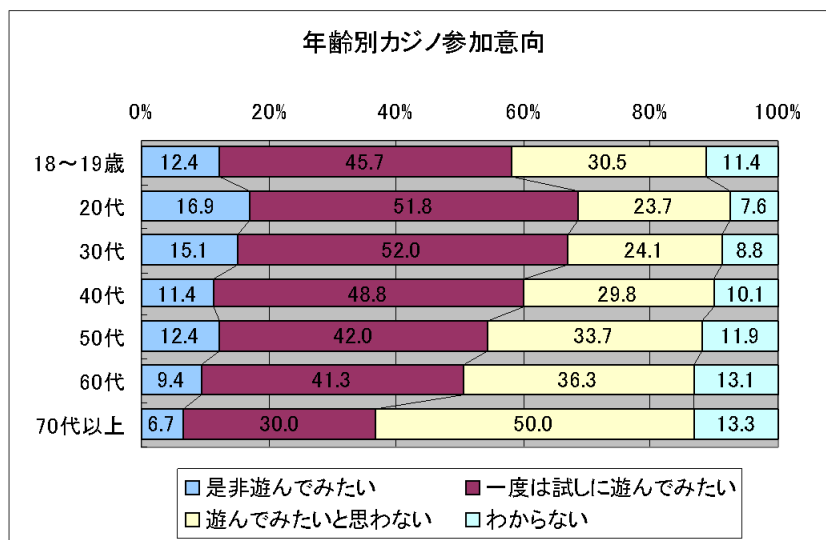
カジノ参加意向に関する設問において、日本にカジノができた場合には是非遊んでみたいと応えたのが全体の14.1%、一度は試しに遊んでみたいと応えたのが50.2%、遊んでみたいとは思わないと応えたのが26.5%という結果が出た。賛成派が52.49%にも及んだ「カジノ合法化賛否」に関する問いかけと比べると慎重な姿勢を示している層が多い事がわかる。ただし、全体的に男性の方がカジノにより高い関心を示しているという点では、同様の傾向が出ている。

図表 5



カジノ参加意向を年代別に見てみると20代、30代を頂点として高齢世代に向かってなだらかにカジノへの関心が低くなっている事がわかる。

図表 6



※注：本調査ではパチンコ、パチスロに関する参加意向を正確に測定するため、18歳、19歳もアンケート対象として設定しております（パチンコ、パチスロは18歳以上がプレイ可）。この層は本来ギャンブル行為の認められていない世代ですが、データの一貫性を保つために集計は18歳～19歳の回答結果も含んで表記いたします。ご了承ください。

5. 既存のゲーミング産業との関係

「期待される非合法ギャンブルの清浄化」

今回の調査ではカジノ以外のギャンブル型レジャーに関する設問も用意した。「あなたが過去1年においてしたことがあるギャンブル型レジャーについて教えてください」という設問に対して、以下のような結果が出た。

図表 7

過去1年で参加したギャンブル型レジャー

	参加人数	参加率
宝くじ(スクラッチくじを含む)	6257	62.6%
数字選択式くじ(ナンバーズ・ロト)	2637	26.4%
いずれもしたことがない	2439	24.4%
パチンコ	2324	23.2%
中央競馬	1864	18.6%
パチスロ	1292	12.9%
マーじゃん	829	8.3%
サッカーくじ(toto)	717	7.2%
地方競馬	524	5.2%
海外でのカジノ	369	3.7%
競艇	314	3.1%
競輪	237	2.4%
オンラインギャンブル	136	1.4%
オートレース	107	1.1%
国内非合法ギャンブル	35	0.4%

母集団 ; 10,000 人

宝くじに関しては全体の 62.6%が「過去一年においてしたことがある」と答えており、過去1年の間に非合法ギャンブルに参加したと答えた層も 0.4%存在した。また、この結果と「カジノ参加意向」で求められた結果をクロス集計すると以下ようになる。

図表 8

過去 1 年で参加したギャンブル型レジャー vs カジノ参加意向

過去 1 年で参加したギャンブル型 レジャーの種類	カジノ参加意向			
	是非遊んでみたい	一度は試しに 遊んでみたい	遊んでみたい と思わない	わからない
国内非合法ギャンブル	77.1%	22.9%	0.0%	0.0%
オンラインギャンブル	64.0%	33.1%	2.2%	0.7%
オートレース	55.1%	41.1%	2.8%	0.9%
競輪	48.1%	41.4%	6.8%	3.8%
競艇	47.1%	41.7%	7.3%	3.8%
海外でのカジノ	45.5%	46.1%	5.7%	2.7%
地方競馬	41.6%	44.5%	10.1%	3.8%
サッカーくじ(toto)	38.2%	48.4%	10.3%	3.1%
パチスロ	37.9%	50.5%	6.2%	5.4%
マーじゃん	37.0%	50.3%	9.3%	3.4%
中央競馬	33.3%	51.2%	10.5%	5.0%
パチンコ	32.2%	53.0%	9.5%	5.3%
数字選択式くじ(ナンバーズ・ロト)	25.8%	52.9%	14.5%	6.7%
宝くじ(スクラッチくじを含む)	17.6%	53.9%	20.8%	7.7%
いずれもしたことがない	3.6%	39.2%	44.4%	12.7%

各ギャンブル型レジャーの参加者の中でカジノに対して最も好意的な意向を示したのは、「非合法ギャンブル（是非遊んでみたい；77.1%）」と「オンラインギャンブル（是非遊んでみたい 64.0%）」に参加している層であった。この種の現在、国内で合法化されていないギャンブル型レジャーはカジノの態を成している（地下カジノやオンラインカジノ）ケースが多く、日本でカジノが合法化されればそういった非合法部分に流れている一部資金が合法的なカジノ市場へ流出してくる可能性が高いことを示唆している。

また今回の調査では、各ギャンブル型レジャーの参加率と、各ギャンブル型レジャー参加者のカジノに対する意向には強い相関関係が認められた。

図表 9

各ギャンブル型レジャー参加率とカジノ参加意向

順位	ギャンブル型 レジャーの種類	参加率	順位	過去1年で参加した ギャンブル型レジャーの種類	是非遊んでみたい と答えた比率
1	国内非合法ギャンブル	0.4%	1	国内非合法ギャンブル	77.1%
2	オートレース	1.1%	2	オンラインギャンブル	64.0%
3	オンラインギャンブル	1.4%	3	オートレース	55.1%
4	競輪	2.4%	4	競輪	48.1%
5	競艇	3.1%	5	競艇	47.1%
6	海外でのカジノ	3.7%	6	海外でのカジノ	45.5%
7	地方競馬	5.2%	7	地方競馬	41.6%
8	サッカーくじ(toto)	7.2%	8	サッカーくじ(toto)	38.2%
9	マーじゃん	8.3%	9	パチスロ	37.9%
10	パチスロ	12.9%	10	マーじゃん	37.0%
11	中央競馬	18.6%	11	中央競馬	33.3%
12	パチンコ	23.2%	12	パチンコ	32.2%
13	数字選択式くじ(ナンバーズ・ロト)	26.4%	13	数字選択式くじ(ナンバーズ・ロト)	25.8%
14	宝くじ(スクラッチくじを含む)	62.6%	14	宝くじ(スクラッチくじを含む)	17.6%

「国内非合法ギャンブル」「オートレース」「オンラインギャンブル」は今回の調査で最も参加率の低かったギャンブル型レジャーであるが、そういった参加率の低いギャンブル型レジャーの参加者はその他のギャンブル型レジャーの参加者に比べて非常に高いカジノへの関心を示している事が判る。同様の傾向はその他のギャンブル型レジャーにも見られ、「全体の参加率の低いギャンブル型レジャーの参加者ほどカジノに対する関心が高く、参加率の高いギャンブル型レジャー参加者ほどカジノに対する関心が低い」という傾向が見て取られた。

その結果を鑑みると、カジノ合法化によって最も影響を受けるであろう産業は「国内非合法ギャンブル」「オートレース」「オンラインギャンブル」であり、逆に「宝くじ」「数字選択式くじ」「パチンコ」「中央競馬」など参加率の高いギャンブル型レジャーは比較的カジノ合法化によって受ける影響は少ないであろう事が予想される。

本調査に関するお問い合わせは

(株)エンタテインメントビジネス総研

〒110-0015 台東区東上野 3-24-3

Tel:03-5688-4751 Fax:03-5688-5353

主任研究員 木曾 崇まで E-mail: kiso@eb-i.jp